

ご案内

今回の研究会は、センシング技術応用研究会(SSTJ)とニューセラミックス懇話会(NCF)との共催で行います。講演テーマとして研究開発におけるデータサイエンスと生成AIの活用動向、ならびにセラミックス製造プロセスにおけるインフォマティクスの最新の取り組みを紹介し、生成AIを用いた産学連携の実例や、プロセスシミュレータと実験を組み合わせたデータ構築の現状と課題について議論し、今後の展望を共有します。

参加ご希望の方は、申込書にご記入の上、4月15日(水)までに事務局までお申し込みください。多数お誘い合わせの上ご来会くださいますようお願い申し上げます。

(※今回はオンライン配信は行わず、**現地講演のみ**の開催となります。)

参加費：会員 無料、非会員 ¥10,000

記

日時 令和8年4月22日(水) 13:35～16:45
会場 大阪産業創造館 6階 会議室A・B
(堺筋本町駅より徒歩5分 大阪市中央区本町1-4-5)
主催 センシング技術応用研究会・ニューセラミックス懇話会

○センシング技術応用研究会 事務局 TEL・FAX 0725-53-3155
E-mail ssstj@sensing-tech.org URL <https://sensing-tech.org/>
○ニューセラミックス懇話会 事務局 TEL・FAX 0725-53-1919
E-mail ncf-office@ncf.kyokai-osaka.org URL <https://ncf.kyokai-osaka.org/>
〒594-1157 和泉市あゆみ野2-7-1 大阪産業技術研究所 和泉センター内

申込先 下記URLからお申し込み下さい。

<https://forms.gle/Tfcp9bpYVmg7GZe46>

※右記QRコードからもお申し込み可能です。



開会挨拶 13:35～13:40

ニューセラミックス懇話会 会長 関野 徹 氏

<講演>(1) 13:40～15:00(質疑応答を含む)

「データサイエンス×生成AIが拓く研究開発の未来 — 産学連携の実例と示唆 —」
滋賀大学 データサイエンス学部
教授 南條 浩輝 氏

データサイエンスと生成AIは、研究・業務におけるデータ駆動型意思決定を支える基盤となりつつあります。本講演では、生成AIの基本的な仕組みを概説するとともに、実務や研究現場での活用事例を紹介します。産学連携の実例を通じて、今後の方向性と可能性を考察します。

<休憩> 15:00～15:20

<講演>(2) 15:20～16:40(質疑応答を含む)

「セラミックス製造プロセスインフォマティクスの現状と課題」
一般財団法人ファインセラミックスセンター 材料技術研究所
主幹研究員・先進プロセス設計グループ(兼)高信頼性材料グループ グループ長
木村 禎一 氏

セラミックス部材の製造には、多数の製造条件の最適化が必要である。このような最適化には「インフォマティクス」の活用が大いに期待されるが、実験に長時間を要するため、解析に必要な規模のデータ収集が難しいという問題がある。JFCCでは、プロセスシミュレータと実験とを組み合わせたプロセスビッグデータの構築に取り組んでいる。本講演では、取り組みの現状と今後の課題について述べる。

閉会挨拶 16:40～16:45

センシング技術応用研究会 会長 筒井 博司 氏

